

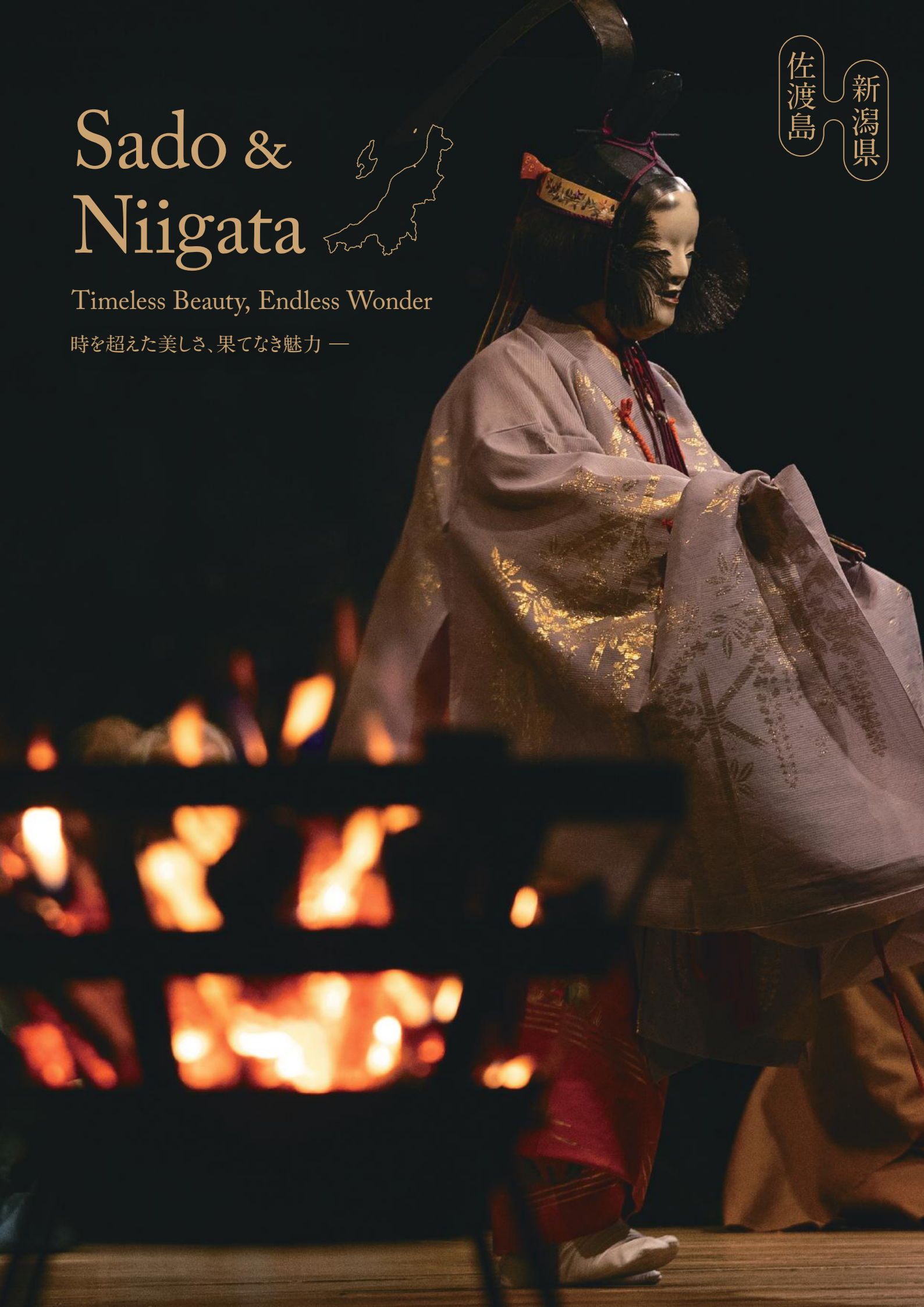
佐渡島

新潟県

Sado & Niigata

Timeless Beauty, Endless Wonder

時を超えた美しさ、果てなき魅力 —



Sado & Niigata



Timeless Beauty, Endless Wonder

時を超えた美しさ、果てなき魅力 —

時を超えた美しさ、果てなき魅力

一万年以上前から人々が暮らす日本海側最大の島、佐渡島。日本ジオパークにも認定されている美しい大地と自然を背景に、遠流で流されてきた貴族・公家・文化人、鉱山開発のために全国から来島した役人や技術者、そして北前船による人々の交流によって「日本の縮図」とも呼ばれるほど多様な文化に満ちた豊かな島です。

また、佐渡島では古くから金・銀・銅が採掘されていて、17世紀前半には世界の金生産の一割を誇ったともされるほどでした。2024年7月、優れた生産技術が評価され、「佐渡島の金山」は世界遺産に登録されました。

佐渡島がそうであるように、新潟も美しい自然と伝統文化が豊富に残る魅力あふれる地域。佐渡と新潟。その歴史や文化に触れ、地域の人々と交流することで時を超えた美しい文化を体感する上質な旅に出かけましょう。

世界遺産「佐渡島の金山」

佐渡島では古くから金・銀・銅が採掘されていて、17世紀前半には世界最大級の金鉱山でした。2024年7月、「佐渡島の金山」は世界遺産に登録されました。常に工夫や改善をしながら大規模な生産の仕組みを整え、機械に頼らない伝統的手工業により、大量で高品質の金を生産した、その歴史を今に伝える鉱山や遺跡が現存していることが、世界遺産としての評価につながりました。



佐渡西三川の砂金山由来の農山村景観

Nishimikawa Placer Gold Mine

西三川砂金山

佐渡島最古の砂金山で、江戸時代の砂金採取技術を示す遺構が多く現存しています。砂金が含まれている山を掘り崩し、余分な土砂を大量の水で洗い流してから、残った砂金をゆり板で選びとる「大流し（おおながし）」という方法がとられました。

砂金採掘の様子を描いた浮世絵
『諸国六十八景 佐渡金やま』
二代歌川広重作
新潟県立歴史博物館 所蔵



Aikawa-Tsurushi Gold and Silver Mine

Nishimikawa Placer Gold Mine



道遊の割戸

相川鶴子金銀山

16世紀半ばから20世紀末（1989（平成元）年）までの長期間採掘が続けられた日本最大の金銀山でした。中でも、相川金銀山の坑道は総延長約400kmに及び、その一部を公開している「史跡 佐渡金山」では、手掘り跡や再現された当時の採掘の様子などを見学することができます。相川地区は鉱山技術の発展を示す遺構や集落・鉱山町などがまとまって現存する世界的にも稀有な鉱山遺跡群となっています。中でも山が割れたような形をした「道遊の割戸（どうゆうのわりと）」は日本最大の露頭掘りの跡であり、「佐渡島の金山」のシンボリック存在です。



史跡 佐渡金山（道遊の割戸）
新潟県佐渡市下相川1305

Sado Magistrate's Office and
Kyomachi Street

佐渡奉行所と京町通り

「佐渡奉行所」は金銀生産施設も併設し、佐渡金銀山の管理などを行っていた政治の中心地。「京町通り」は相川金銀山と奉行所（陣屋）を結ぶメインストリートで、道沿いには役人の屋敷や問屋、商店などが立ち並び、たくさんの人々が行き交っていました。風情ある通りでは、6月には民謡流しの「宵の舞」、10月には「相川まつり」が開催されます。



新潟県佐渡市相川広間町1-1



京町通り



佐渡奉行所

北沢浮遊選鉱場跡

浮遊選鉱とは、鉱山で採掘された鉱石の中から金や銀などを取り出す方法のひとつです。もともとは銅の選鉱工程で利用されていた方法ですが、金銀の回収に応用したのは佐渡鉱山が世界で初めてでした。「東洋一の浮遊選鉱場」とも呼ばれた規模を誇り、毎年春から秋まで夜のライトアップを開催しています。星空と一緒に眺める遺構は幻想的です。



新潟県佐渡市相川北沢町3-1



Experiences in Sado

きらりうむ佐渡

新潟県佐渡市
相川三町目浜町18-1



史跡 佐渡金山

新潟県佐渡市
下相川1305



「きらりうむ佐渡」は、世界遺産「佐渡島の金山」を紹介するガイド施設。歴史や遺跡などを大型映像でわかりやすく紹介しています。遺跡を見学する前に立ち寄り、事前に学ぶことがオススメです。「史跡 佐渡金山」は佐渡金銀山400年の歴史を伝える史跡。坑道内部は見学が可能で当時の採掘の様子を知ることができます。

無名異焼体験



「無名異焼（むみょういやき）」は、1819年に羽口（炉に風を送るための土製の管）を生産していた伊藤甚兵衛が金銀山から出る無名異という、島特有の赤土を使い、楽焼（手づくねで成形）を焼成したものが始まりといわれています。玉堂窯元では、カップづくりなどを体験することができます。（要予約）



玉堂窯元
新潟県佐渡市窪田122-1



薪能

Photo. 天領佐渡両津薪能

江戸時代、初代佐渡奉行の大久保長安が能文化を佐渡島にもたらしたといわれています。神社に奉納する「神事能」として進化を遂げ、“庶民の能”として浸透しました。佐渡島の能舞台の多くは神社の境内にあり、屋外の客席から鑑賞します。今でも4～10月にかけて島内各地の能舞台で演じられています。夕闇が迫りをつつみ、松明の火の粉が響く静寂の中、厳かに始まる幻想的な演能は見る人に時を超えた感動を与えます。



芸能のるつぽ佐渡島

佐渡島は、古より海を介して各地の文化が交差する場所でした。多くの文化人や貴族が流人として佐渡で暮らし、その後、鉱山開発により日本各地から役人や技術者、労働者、商人などが来島し、加えて北前船の寄港であったことから、多様な文化・風俗が持ち込まれ、これらが融合して佐渡島独特の文化が育まれました。



Onidako

鬼太鼓

Photo. 新穂中央青年会鬼太鼓

鬼太鼓は佐渡島を代表する伝統芸能で、18世紀中頃の佐渡奉行の日記には、金銀山の坑夫が鬼の面をかぶって太鼓を叩いたことが記されています。地域で脈々と受け継がれてきた独特の舞と太鼓の音色や勇壮な掛け声の特徴です。120を超える集落でそれぞれ独自の鬼太鼓を継承しており、一つとして同じものはないほど多様性に富んでいます。



文弥人形芝居

文弥人形は、佐渡島に伝わる一人遣いの人形芝居です。ひとりが1体の人形を操り、哀調を帯びた文弥節に合わせて動かすことで、細やかな感情を表現します。他の佐渡島の人形芝居である説経人形や野呂間人形とともに、「佐渡の人形芝居」として、国の重要無形民俗文化財に指定されており、島内の祭りや行事などで盛んに上演されています。



佐渡島の田んぼとトキ

佐渡島では金山を支えるべく多くの産業が栄えました。田んぼの開墾もその一つ。島内の山間部には美しい棚田が広がります。田んぼの中に生息する生き物を食べるトキと共生する佐渡島の環境保全型農業は「トキと共生する里山」として、2011年に国連食糧農業機関（FAO）から「世界農業遺産」にも選定されています。自然に恵まれた佐渡島は食材の宝庫。海産物はもとより、野菜、果物、肉そして米などが豊富です。また、東西の文化が交わる多様な食文化も特徴の一つです。



Experiences in Sado

佐渡太鼓体験交流館 たたこう館



佐渡島を拠点に国際的に活動する太鼓芸能集団「鼓童（こどう）」の経験と蓄積をいかした、太鼓体験ができます。どなたでも太鼓の楽しさやおもしろさを知ることができるワークショップを提供しています。建物は佐渡産の木材を使用しています。



新潟県佐渡市小木金田新田150-3

宿根木まち歩き



宿根木は、佐渡金銀山が繁栄した17世紀を経て、江戸中期から明治時代にかけて、大阪から北海道へ荷物を売り買いしながら日本海を航行した北前船の船主が集住した港町です。造船が盛んに行われ、船板などを利用した民家100余棟が密集するノスタルジックな町並みは、国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されています。



新潟県佐渡市宿根木



湊町と鮭文化

北前船（きたまえぶね）とは、江戸時代から明治時代にかけて、大阪と北海道を日本海回りで商品を売り買いしながら航行した商船群のこと。北海道から大阪方面へは昆布、ニシン、海産物など、逆は酒、塩、砂糖、紙、木綿などが行き交いました。また北前船は、単に物資を輸送するだけでなく、各地の特産品や文化を交換する役割も担っており、その寄港地である佐渡や新潟は経済的に大いに発展するとともに、多様な文化が育まれました。



Minatopia:
Niigata City History Museum



新潟市歴史博物館みなとぴあ

新潟県新潟市中央区柳島町2丁目10

「郷土の水と人々の歩み」をテーマとした“湊町新潟”の歴史と文化を楽しく学べる博物館です。新潟市は幕末の開港5港のうちの一つであり、敷地内には、国指定重要文化財「旧新潟税関庁舎」が開港当時の姿のまま現存するほか、船から荷揚げするための石段、堀や柳並木が復元されており、明治から昭和にかけての情緒あふれる港町新潟の景観が楽しめます。



The Niigata Saito Villa

旧齋藤家別邸

新潟三大財閥の一つに数えられた豪商・齋藤喜十郎が1918年に建てた、総敷地面積1,300坪（4,300㎡）を誇る広大な別荘。見どころは、庭園と建物が見事に調和した空間です。庭園は国の名勝に指定されている砂丘の斜面を活かした回遊式庭園で、建物は近代建築の秀作といわれ、国の登録有形文化財になっています。建物から眺める庭園の景色は必見です。



新潟県新潟市中央区西大畑町576



Northern Culture Museum

北方文化博物館

1889年に8年の歳月をかけて完成した、越後の大地主伊藤家の旧大邸宅を保存・公開している豪農の館。広大な8,800坪（29,000㎡）の敷地には主屋、大広間、茶室、蔵といった建物をはじめ、池泉回遊式庭園、美術品のコレクションなどを鑑賞できます。新潟の伝統と芸術だけでなく、四季折々の風情を楽しめる場所です。



新潟県新潟市江南区沢海2丁目15-25

Murakami Festival Float Parade

村上祭の屋台行事

村上祭の屋台行事とは、毎年、西奈彌羽黒（せなみはぐろ）神社で開催される村上大祭（毎年7月6・7日）で曳き出される屋台（おしゃぎり）の巡行のことです。国の重要無形民俗文化財に指定されており、各町内で大切に受け継がれてきた19基の豪華絢爛な屋台が旧村上城下町を練り歩きます。



Murakami and Salmon Culture

村上の鮭文化

1,000年前に、朝廷に鮭を献上していた記録の残る村上市は、「鮭のまち」として知られ、伝統的な鮭漁や鮭料理が今も受け継がれています。村上では、鮭は冬の貴重な保存食であり、頭の先から尾びれまで余すところなく食べ尽くす鮭料理は100種以上にも及びます。また、冬には寒風に吹かれてうまみを増す「塩引き鮭」が軒下に吊るされ、冬の風物詩となっています。



新潟県村上市大町1-20



Experiences in Niigata

潟船・漁

福島潟 潟舟体験



新潟平野には、昔は大小様々な「潟」が点在し内水面交通などに利用されていました。江戸時代以降、これらの潟は徐々に干拓され、水田へと姿を変えていきました。福島潟もその一つ。自然と共生してきた福島潟の文化に触れる体験として、昔ながらの木舟に乗って、福島潟の自然を体感できる潟舟（かたぶね）体験も人気です。



新潟県新潟市北区前新田乙493

古町芸妓



江戸時代、新潟は北前船の寄港地として、多くの人が行き交う湊町でした。街には賑やかな料亭が軒を連ね、訪れた人々を古町芸妓がもてなしました。その伝統ある芸妓の舞や遊びを体験してはいかがでしょうか？



ものづくりのまち 燕三条



江戸時代、発展する江戸の建物の建設のために、燕三条地域で「和釘」の製造が始まりました。材料・燃料資源を有する山々、物流を担う河川、寒い冬を耐え抜く気骨など、数々の条件が整っていた燕三条では、「鍛冶」が盛んに行われました。その後、あらゆる金属加工の集積地「燕三条」として発展してきました。

玉川堂
燕鎚起銅器

新潟県燕市中央通2丁目2-21

Tsubame Tsuki Copperware

江戸時代中期に仙台から技術が伝わり、やかん類の生産が始まりました。鉋起とは鉋(つち)で打ち起(おこ)すという意味で、数百種類に上る金鉋と当て金を使い分け、銅板から立体製品を生む技術です。表面には化学反応による着色が施されており、使い込むほどに光沢が増すのが特徴です。



ノーベル賞の晩餐会の カトラリー

燕三条は、金属加工が盛んな地域で、作業工具や刃物、洋食器など優れた製品を製造して海外にも輸出されています。ノーベル賞の晩餐会で使用されるカトラリーは、1991年から燕三条の製品が採用されています。

Cutlery of the Nobel Prize
Banquet

Experiences in Niigata

オープンファクトリー



製造現場を一般に開放している工場（オープンファクトリー）が燕
 市や三条市には多くあります。ものづくりをしている職人の見学や
 買い物をすることができます。秋には、普段公開していない工場
 も一斉に公開する「工場の祭典」も開催されます。

燕市産業史料館

新潟県燕市大曲4330-1



モノづくりのまち燕の金属加工産業の歴史を伝える史料館。江戸時代から400年続く燕の金属加工技術発展の歴史を展示。体験工房では金鋸を使って模様を入れる「鋸目入れ」や器を成型する「ぐい呑み製作」などの体験が可能です。

風土と人が育んだ艶やかな文化

新潟の山間部は、冬になると3メートルもの雪が積もる日本有数の豪雪地です。積雪の多い所では、半年もの間雪に覆われますが、そこには、雪と生きるための知恵や雪を楽しむための文化があります。ここで暮らす人々は、古くから雪を活かして多くの産業を生み出してきました。



醸造文化
摂田屋まち歩き

新潟県長岡市摂田屋4丁目6-33

Exploring Settaya

醸造の町といわれている長岡市の榎田屋地区。ここには酒・味噌・醤油などを醸造する蔵元が6軒あり、麴の匂いはどこからともなく漂ってきます。国の登録有形文化財や歴史的建造物が多く現存する町です。



モデルコース
半日コース (4時間)



摂田屋・宮内の歩き方



錦鯉の里

Experiences in Niigata

牛の角突き



長岡
観光ナビ



新潟県小千谷市と長岡市山古志地域で行われる牛の角突きは、国の重要無形民俗文化財に指定されています。他の地域の闘牛と異なり、新潟の牛の角突きは原則として勝ち負けをつけず、引き分けで終わらせるユニークなスタイルです。



過去と現代のアートが交差する場所

魚沼地域は、はるか縄文の時代から現代に至るまで、脈々とアートが息づく特別な場所です。ここでは悠久の時を超えて受け継がれてきた「過去のアート」と、現代を生きる世界的なアーティストたちが大地を舞台に創造する「現代のアート」が鮮やかに交差しています。



日本のミケランジェロ「石川雲蝶」 西福寺 開山堂

新潟県魚沼市大浦174番地

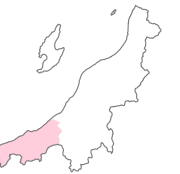
Saifukujī Kaizando Temple

石川雲蝶は、幕末から明治初期にかけて新潟県で活躍した彫物の名匠です。県内の寺院などに色鮮やかに躍動感溢れる木製彫刻を数多く残しています。日本のミケランジェロと呼ばれ、その力量は木彫り作品だけでなく石彫刻や絵画、寺院の設計など多種多様で、現在も県内には1,000点以上の作品が現存しています。



雪を活かした発酵文化

上越地域は、雪を活かした「発酵のまち」です。冬の低温多湿は微生物の活動を最適に保ち、清らかで豊富な雪解け水は、日本酒や味噌、醤油を生み出しました。味噌やかんずり、ワインなど、多様な伝統発酵食品が今に受け継がれています。さらに、応用微生物学の権威である坂口謹一郎氏や、日本のワインぶどうの父と呼ばれる川上善兵衛氏といった偉人達は、発酵文化をさらに発展させてきました。



坂口記念館 発酵文化

新潟県上越市頸城区鶴ノ木148

Fermentation Culture

上越地域は、味噌や醤油、日本酒やワインなど発酵食品の製造が盛んです。これは、夏は高温多湿、冬も雪による低温多湿と、発酵に適した気候風土があり、長く厳しい冬を越すために味噌や麹を使った保存食が郷土料理として発達したためです。



清津峡トンネル 大地の芸術祭

新潟県十日町市小出2162

日本三大峡谷の一つとして知られる「清津峡」。川を挟んで切り立つ巨大な岩壁はV字形の大峡谷をつくり、国の名勝及び天然記念物にも指定されています。大地の芸術祭にて制作された「Tunnel of Light (清津峡渓谷トンネル)」は自然を利用しながら、建築的な空間とアーティスティックな雰囲気を作り出し、フォトジェニックなスポットとして、多くの観光客が訪れています。



マ・ヤンソン / MADアーキテクト[Tunnel of Light] (大地の芸術祭作品)
photo Yamada Tsutomu

雪国ガストロノミー ryugon 「土間クッキング」

新潟県南魚沼市坂戸1-6



雪国の郷土料理名人のおばあちゃんと一緒に作る、体験型ランチが「土間クッキング」です。料理体験をしながら、雪国の食文化やそこで暮らす生活の知恵が学べます。

なじょもん 縄文体験

新潟県中魚沼郡
津南町大字
下船渡乙835



十日町市博物館 TOPPAKU 縄文文化

新潟県十日町市
西本町4丁目
448番地9



十日町市博物館 所蔵

「なじょもん」は、津南町の農業・縄文・民俗の体験学習施設。土器作り・アングン編み・勾玉作り・わら細工などの体験実習が楽しめます。「十日町市博物館 TOPPAKU」は、十日町市の「縄文時代と火焰型土器のクニ」「織物の歴史」「雪と信濃川」の3つのテーマによる展示をしています。新潟県唯一の国宝「火焰型土器」をはじめ、織物の歴史や積雪期用具など、雪と共生してきた歴史や民俗を学ぶことができます。

笹寿司作り体験



「笹寿司」とは、「箕(みの)」というザルのような農具の形に折った笹の中に酢飯を詰めて、その上に地元で採れた山菜などの具材を乗せた新潟県の郷土料理です。お盆やお祭りなど、人が多く集まる時にふるまわれる笹寿司をご堪能ください。



かんずり雪さらし体験



「かんずり」は、塩漬けのトウガラシをあく抜きのため雪の上にさらし、柚子や秣などと混ぜて発酵させた妙高を代表する香辛調味料。池の平温泉アルペンブリックススキー場では、1月に一般見学や雪さらしの体験ができます。





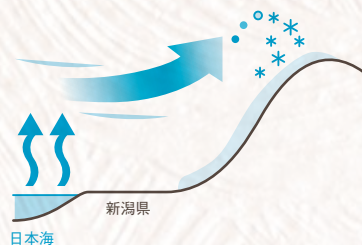
新潟酒物語

なぜ、新潟県は 酒蔵数が日本1位なのか?

The Story of Niigata Sake

2024年に日本の「伝統的酒造り」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。これは、日本酒や焼酎、泡盛など、日本古来のお酒が杜氏（とうじ）や蔵人などによるこうじ菌を用いた伝統的な酒造りの高い技術により、評価されたものです。日本では各地の気候や風土に合わせて発展し、多様な酒造り文化が育まれてきました。現在の日本酒は多様化が進んでおり、和食にも洋食にも合うのが特徴です。今や世界的にもブームの日本酒。実は日本酒の酒蔵の数が一番多いのが、新潟県なのです。

新潟は地域によっては冬に3メートルもの雪が積もり、4ヶ月間は雪に覆われる日本有数の豪雪地。この雪がもたらす一定の低温と湿気が麹菌や酵母など、酒造りに欠かせない微生物の働きに最適な環境を生み出します。また、雪は塵やほこりを遮断し、天然のクリーンルームとなります。新潟の雪を活かした酒造りが「寒造り（かんづくり）」と言われるのもこうした理由があるからです。



酒の味を左右するのが、水と米、そして人の技。日本酒の製造に必要な水は仕込み水の30倍から40倍と言われますが、大量の雪は春の雪解けとともに地表や地中へ流れ込み、酒造りに欠かせない豊富な伏流水となります。地下に浸み込んだその伏流水は、アルカリ分の少ないまろやかな軟水となります。また、一般的に軟水による酒造りは難しいと言われていますが、越後杜氏の高い技術力と雪国らしい勤勉さで、高いレベルの日本酒を創り出してきました。

新潟県はまた、日本一の作付け面積を誇るお米の産地。雪解け水がもたらす清冽な水と盆地が生み出す気温の寒暖差は、「コシヒカリ」など全国有数のブランド米も産出しています。日本酒の原料の酒米も、品種改良により「五百万石」「一本メ」「越淡麗」など多くの有名な酒米も生み出しています。このように、自然環境、人、風土といった酒造りの環境に恵まれた新潟は、日本一の酒蔵数を誇っているのです。新潟にいらしたら、新潟の風土と人から生み出された「地酒」をご堪能ください。



日本酒を体験できる施設

佐渡市

尾畑酒造
学校蔵



新潟県佐渡市西三川1871

尾畑酒造は佐渡島にある5つの酒蔵のひとつ。「学校蔵」は廃校を酒蔵として再生させた場所、試飲や買い物ができます。またここでは、日本酒の仕込みを学びたい方が参加できる「学校蔵の酒造り体験プログラム（要事前応募・有料）」も実施しています。

新潟市

今代司酒造



新潟県新潟市中央区鏡が岡1-1

今代司酒造は1767年創業の酒蔵。酒蔵見学（要予約）では趣のある蔵の中を、酒造りはもちろん、新潟や地域の歴史の話を交えながら、スタッフが丁寧にご案内いたします。法被を着て記念撮影も可能。新潟駅から徒歩約15分と駅からのアクセスも良好です。

南魚沼市

八海醸造
魚沼の里



新潟県南魚沼市長森426-1

「魚沼の里」は、広大な敷地に酒蔵をはじめ、レストランやショップ、地ビール醸造所などが点在する複合施設。特に「八海山 雪室（はっかいさん ゆきむろ）」では雪を利用した「雪室（ゆきむろ）」での日本酒の熟成貯蔵を見学したり、試飲も可能。酒器やオリジナルグッズも販売しています。

妙高市

君の井酒造



新潟県妙高市下町3-11

1842年創業の酒造りの伝統、山廃仕込等の技術的な継承が息づいている酒蔵です。築100年以上の社屋では、冬の大雪に耐える梁の構造や、今も現役で使っている釜やこしきなどの酒蔵施設が見学できます。また、その時期おすすめのお酒の試飲（無料）や商品の購入が可能です。

新潟の郷土料理

新潟県は、海と山に囲まれ、南北に長く、しかも冬には大雪が降るというバリエーションに富んだ地形・気候・風土を持つ地域です。また、東西文化の接合点として多様な食文化が交り込み、「食の宝庫」ともいべき土地でもあります。その中でも風土と伝統的な食文化を反映した郷土料理は、まさに新潟の食文化の象徴であり、新潟に来たら一度は味わっていただきたいものです。

1. へぎそば
2. のっぺ
3. 笹寿司



新潟ガストロノミーアワード

「新潟ガストロノミーアワード」は、「ローカル・ガストロノミー」の理念を体現する新潟県内の優れた飲食店、宿泊施設、お酒やお土産などを発掘・表彰するものです。単に料理の美味しさやレストランの質だけでなく、地域性、食に携わる関連産業との連携・取り組み、サステナビリティ、フィロソフィーなど総合的に評価して優れたレストラン、料理人等を選定して紹介しています。ぜひ、ご来店いただきその一皿の中に新潟の文化や風景を感じ取っていただきたいと思います。

1. Restaurant L'arnoise
2. KOKAJIYA
3. 里山十帖



Festivals & Events Calendar

地域に代々受け継がれてきた行事やお祭りを見ることは、地域文化を体感する最もよい方法の一つです。
気さくな地元の人々と交流し、古くからの慣習について学び、時にはお祭りに参加したり…。
忘れられない思い出を作り、新潟の文化を心ゆくまで体験してください。

Spring

Mar.
Apr.
May

[3月1日～4月3日]



村上市
城下町村上町屋の
人形さま巡り

[4月上旬～中旬]



上越市
高田城址公園観桜会

[4月]



新潟市
アート・ミックス・ジャパン

Summer

Jun.
Jul.
Aug.

[6月中]



佐渡市
能月間

[7月下旬]



弥彦村
弥彦神社燈籠おしと舞楽

[8月1日～8月3日]



長岡市
長岡まつり

Autumn

Sep.
Oct.
Nov.

[9月第2土曜日・前日金曜日]



小千谷市
片貝まつり

[10月19日]



佐渡市
善知鳥神社祭礼行事

[10月下旬～11月下旬]



柏崎市
松雲山荘紅葉ライトアップ

Winter

Dec.
Jan.
Feb.

[1月15日]



十日町市
むこなげ・すみ塗り

[2月中旬]



十日町市
十日町雪まつり

[3月第1土曜日]



南魚沼市
越後浦佐毘沙門堂
裸押合大祭



MAP 新潟県の文化観光マップ

- | | |
|----------------------|-------------------------------|
| 01 相川鶴子金銀山 | 18 醸造文化 (摂田屋) |
| 02 西三川砂金山 | 19 錦鯉 |
| 03 佐渡奉行所と京町通り | 20 織物体験 (小千谷市総合産業会館 サンプラザ) |
| 04 北沢浮遊選鉱場跡 | 21 牛の角突き (小千谷闘牛場・山古志闘牛場) |
| 05 ざらりうむ佐渡 | 22 西福寺 開山堂 |
| 06 史跡 佐渡金山 | 23 大地の芸術祭 (清津峡トンネル) |
| 07 無名異焼体験 (玉堂窯元) | 24 雪国ガストロノミー「土間クッキング」(ryugon) |
| 08 薪能 (佐渡島内各地で開催) | 25 縄文文化 (十日町市博物館 TOPPAKU) |
| 09 たたこう館 (佐渡太鼓体験交流館) | 26 なじょもん |
| 10 宿根木 | 27 発酵文化 (坂口記念館) |
| 11 新潟市歴史博物館みなとぴあ | 28 岩の原葡萄園 |
| 12 旧齋藤家別邸 | 29 かんずり雪さらし体験 |
| 13 北方文化博物館 | 30 尾畑酒造 学校蔵 |
| 14 鮭文化 (千年鮭きっかわ) | 31 今代司酒造 |
| 15 福島潟 | 32 八海醸造 魚沼の里 |
| 16 燕鎚起銅器 (玉川堂) | 33 君の井酒造 |
| 17 燕市産業史料館 | |

MODEL COURSES 周遊モデルコース

佐渡島・新潟市で世界遺産佐渡島の金山と北前船の文化を感じる旅

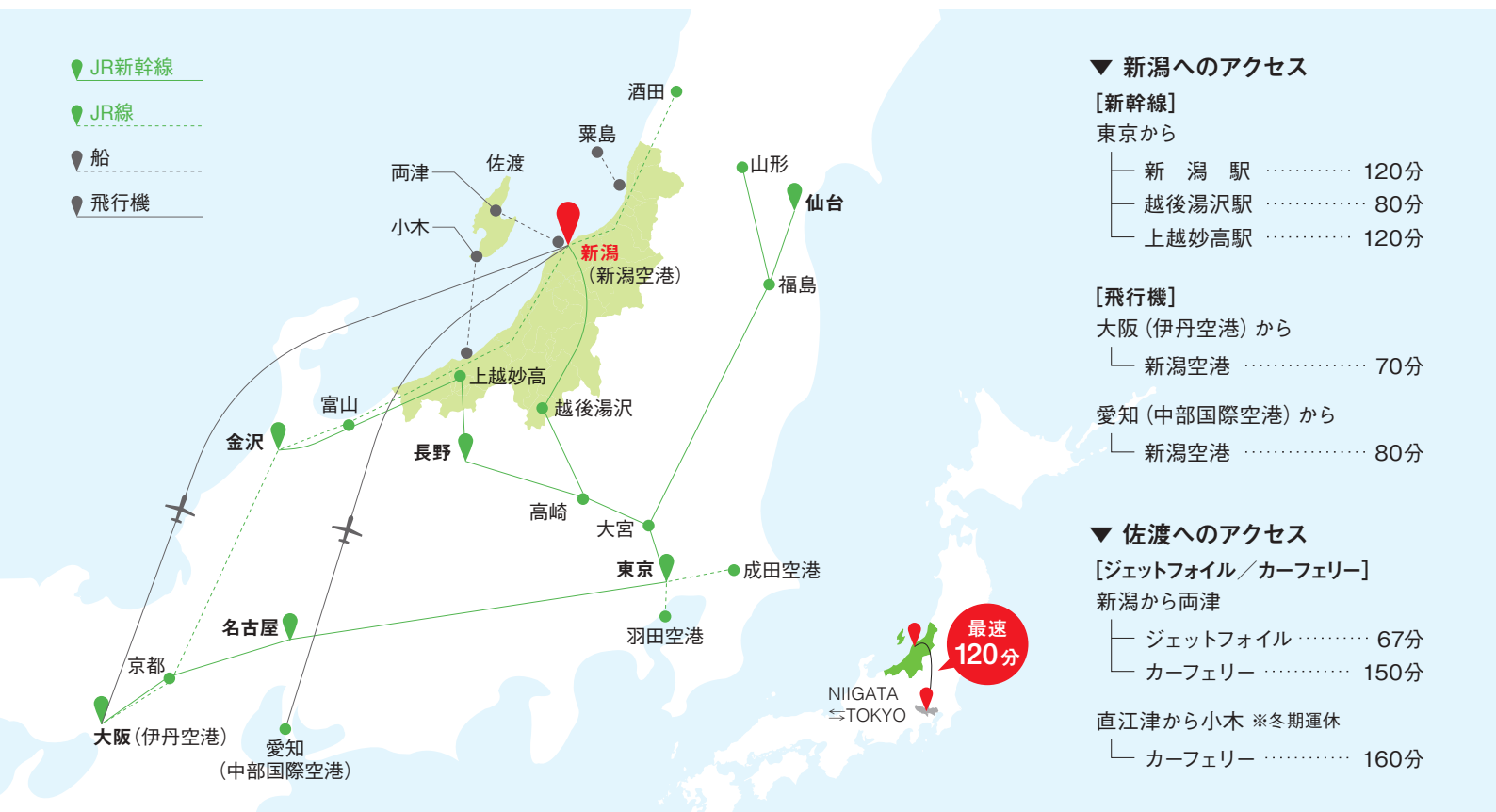
- | | |
|-----|--|
| 1日目 | 新潟港～(船)～両津港→佐渡観光 (ざらりうむ佐渡、史跡佐渡金山、京町通り、佐渡奉行所、北沢浮遊選鉱場跡、無名異焼体験)→佐和田地区宿泊 |
| 2日目 | 佐渡観光 (尾畑酒造、たたこう館、宿根木まち歩き、天領佐渡両津薪能鑑賞)→椎崎温泉宿泊 |
| 3日目 | 両津港～(船)～新潟港→新潟市観光 (新潟市歴史博物館みなとぴあ、旧齋藤家別邸、福島潟) |

新潟県縦断 歴史文化と産業を巡る旅

- | | |
|-----|--|
| 1日目 | 村上観光 (千年鮭きっかわ、イヨボヤ会館)→新潟市観光 (今代司酒造、北方文化博物館)→弥彦温泉宿泊 |
| 2日目 | 弥彦神社→燕三条観光 (燕市産業資料館、オープンファクトリー見学)→小千谷 (錦鯉の里)→浦佐 (西福寺開山堂) |

雪国文化とその食に触れる旅

- | | |
|-----|---|
| 1日目 | 南魚沼観光 (ryugonで雪国料理体験、魚沼の里で雪室見学)→十日町 (十日町市博物館 TOPPAKU)→松之山温泉宿泊 |
| 2日目 | 上越観光 (坂口記念館、岩の原葡萄園)→妙高 (君の井酒造) |



にいがた観光ナビ
niigata
<https://niigata-kankou.or.jp/>



NIIGATA
Culture
Tourism
<https://n-story.jp/nct/>



新潟の地域文化を繋ぎ繋げる
新潟文化物語
<https://n-story.jp/>



新潟県文化課

新潟市中央区新光町4番地1
ngt150030@pref.niigata.jp

TEL.025-280-5619

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/bunka/>



2025年9月制作